

令和7年度ジャパンリンクセンター運営実績

令和8年3月31日

ジャパンリンクセンター運営委員会

1. 委員会、メンバーミーティングの実施

(1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を合計4回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターのwebサイトで公表した。この他に、運営規則や参加規約改訂などの協議のため、臨時運営委員会1回、メール審議を3回実施した。

(2) ジャパンリンクセンター拡大運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を合計4回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターのwebサイトで公表した。

(3) 「対話・共創の場」(メンバーミーティング)

令和8年2月2日に「対話・共創の場」をハイブリッドにて開催した。また、メンバーミーティングにてJaLCの近況を報告した。

2. サービスの開発、運用および管理

(1) サービスの開発・調査等

次の開発・改修を行った。

リリースノート <https://japanlinkcenter.org/top/doc/ReleaseNotes.pdf>

① DataCite スキーマ改定に伴う研究データスキーマの拡充

DataCiteの新メタデータスキーマ4.6のリリースに伴い、コンテンツ区分「研究データ」のスキーマを以下のとおり拡充した。令和7年8月27日リリース。

- ・ リソースタイプの追加
- ・ 関連情報の属性を追加
- ・ 寄与者の属性を追加
- ・ 日付情報の属性を追加

② ジャーナルアーティクルにおけるライセンス情報・アクセス権情報などへの対応

コンテンツ区分「ジャーナルアーティクル」において、以下のメタデータ項目の登録・提供に対応するため、スキーマを拡充した。令和7年12月24日リリース。

- ・ 著者属性(筆頭著者・責任著者・連絡著者)
- ・ ライセンス情報
- ・ アクセス権情報

③ JaLC REST API における検索機能の拡充

JaLC REST API に検索機能を実装した。具体的には、エンドポイント「/search」を新設し、Lucene クエリ構文やフィールド、フィルター項目指定を可能とした。令和 8 年 3 月 25 日リリース。

(2) 運用

引き続き、システムの安定稼働に努めた。具体的には、脆弱性対応、ソフトウェアのバージョンアップ等の対応を実施した。また、IT-BCP(情報システム事業継続計画)の一環として、災害等に伴うシステム障害時の連絡体制訓練やバックアップ・リストア訓練を実施した。

3. DOI 登録機関連業務

(1) DOI 登録業務

正会員の入会対応および準会員への DOI prefix の払い出し、各種問い合わせ対応を行った。その結果、会員数、DOI 登録件数は、表 1、図 1 のとおりとなった。また、DOI 解決数は図 2 のとおりとなった。

表 1. 会員数および DOI 登録累計件数の推移 (令和 8 年 3 月末時点)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
正会員数	25	29	37	43	49	57
準会員数	1,131	1,518	1,814	2,060	2,257	2,434
DOI 登録件数 (内訳)	3,189,377	3,457,584	5,330,029	8,155,335	8,529,611	8,790,850
・論文	2,937,916	3,193,160	4,941,494	6,701,165	7,028,298	7,240,670
・書籍、報告書	248,488	261,175	309,559	1,317,654	1,341,739	1,369,414
・研究データ	1,545	1,719	75,875	133,152	156,000	176,019
・eラーニング	1,427	1,520	1,891	2,120	2,321	3,357
・汎用データ	1	10	1,210	1,244	1,253	1,390

年度	R3	R4	R5	R6	R7
正会員数	62	73	75	81	87
準会員数	2,670	2,913	3,109	3,261	3,501
DOI 登録件数 (内訳)	9,358,545	10,099,340	12,134,727	13,337,598	14,382,421
・論文	7,505,799	7,863,044	8,175,384	8,433,346	8,850,464
・書籍、報告書	1,514,526	1,849,362	2,292,546	2,482,254	3,284,316
・研究データ	332,895	379,393	1,657,790	2,020,852	2,183,145
・eラーニング	3,645	4,428	4,891	5,353	5,606
・汎用データ	1,680	3,113	4,116	35,793	58,890

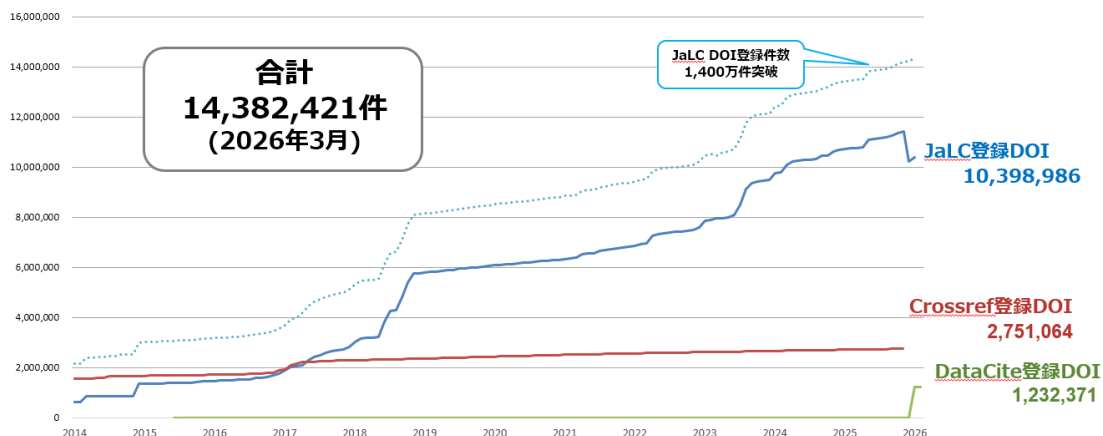


図 1. DOI 登録件数の推移（令和 8 年 3 月末時点）

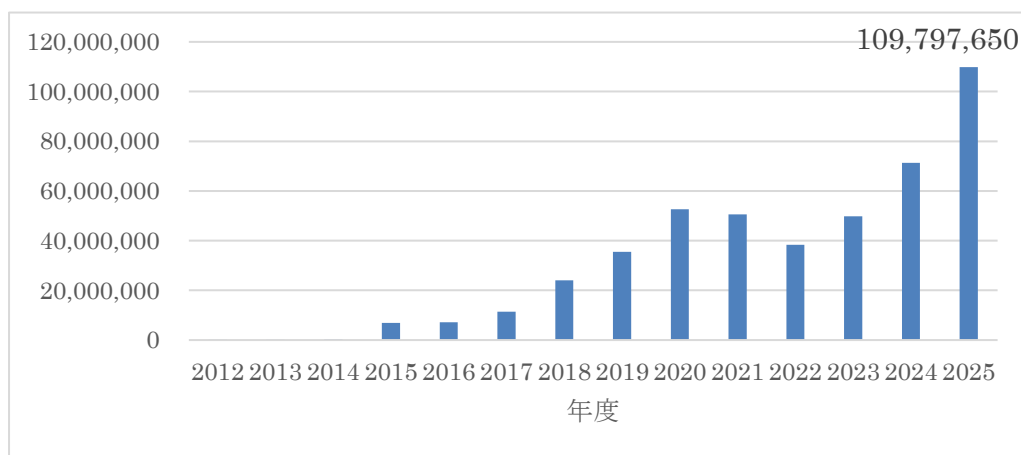


図 2. DOI 解決数の推移（JaLC 登録 DOI）（令和 8 年 3 月末時点）

- ・ 正会員数、準会員数とも平年並みの伸びを示している。正会員は公的研究機関、学会、大学、民間出版社など多彩な機関で構成されており、また準会員は J-STAGE 参加学協会や大学機関リポジトリ等から構成されている。
- ・ 各会員によって着実に DOI 登録が進められた。登録の多かった会員としては、国立国会図書館（書籍・報告書等約 37 万件）、NII 機関リポジトリ（論文、研究データ等約 20 万件）、J-STAGE 利用学協会（論文等約 15 万件）など。
- ・ 核融合科学研究所の研究データの DOI（約 120 万件）の登録機関が JaLC から DataCite に移管となった。
- ・ 総 DOI 登録件数は 1,400 万件を突破した。
- ・ JaLC 登録 DOI の年間解決数が 1 億件を超えた。

(2) 入退会対応業務

令和7年度は6機関が新たに正会員として入会し、計87機関となった。また、準会員は240機関増加し、3,501機関となった。(令和8年3月末時点)

[新規正会員]

- 日本証券アナリスト協会
- 株式会社有斐閣
- 宮城県図書館
- リンカーズ株式会社 *検索会員
- 県立長野図書館
- 奈良県立図書情報館

[退会した正会員]

なし

4. その他、JaLCの運営に関する一切の事務¹⁾

(1) JaLC運営に関すること

- ・ JaLC戦略2023-2027の中間見直し
「ジャパンリンクセンター戦略2023-2027」において令和7年度は中間年にあたることから、これまでの実績を振り返り、戦略達成に向けた今後の活動予定について、第1回および第2回JaLC拡大運営委員会にて議論した。また、「対話・共創の場」(メンバーミーティング)にて、報告した。
- ・ DOI財団の活動へのDOI登録機関(RA)としての参加
理事会合(オンライン、4月・6月・11月)、年次会合(オンライン、2月・3月)、年次会合(対面・オランダライデン、9月)に参加し、運営や技術に関する協議やWebサイト・DOI Handbook改訂のレビュー等を実施した。

(2) 会員への対応、サービス・情報提供

- ・ 「DOI HANDBOOK -日本語版-」の公開
DOI財団が公開する「DOI HANDBOOK」(2023年4月版)の日本語版を作成し公開した。
- ・ 正会員向けDOI登録支援
登録マニュアルの改善やFAQの充実、入会手続きのフローを改善した。
- ・ 準会員向けDOI登録支援
DOI prefixの払い出しフローを改善した。

1) ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項5号

- ・ 準会員への情報提供
情報提供の促進の一環として、準会員を含む誰もが購読できる JaLC NEWS のサブスクリプションの提供を開始した

(3) 「研究データ利活用協議会」との協力

過年度に引き続き委員会運営やイベント開催などを通じて、研究データおよびそのメタデータの流通にかかるコミュニティ醸成を図った。また、「政府メタデータ共通項目小委員会」、「PID ユースケース検討小委員会」の設立や、各部会活動を事務局として支援した。

(4) 普及・広報

- ・ JaLC NEWS の配信
JaLC 正会員に向けて、令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月の月 1 回、JaLC NEWS（メールマガジン）を配信し、サービスのリリースやイベント情報等について情報提供を行った。
JaLC 準会員や、DOI や JaLC に関心のある方向けに「JaLC NEWS Public」を令和 7 年 9 月に配信開始。月 1 回、JaLC NEWS と同日に配信した。
- ・ 表 2 のとおり DOI の普及・広報を行った。

表 2. 令和 7 年度の普及・広報

主催イベント
JaLC ミニセミナー -DOI と DOI 登録の基礎-（令和 7 年 9 月 9 日、オンライン） DOI や JaLC についての理解促進を目的に開催。令和 7 年度は DOI や JaLC の基礎的な事項についての説明にくわえ、学術機関リポジトリデータベース経由の JaLC DOI 登録の仕組み・流れについて国立情報学研究所より説明いただいた。また、参加者からの質疑への応答を行った。講義資料・動画等を WEB サイトで公開。
第 12 回「対話・共創の場」（令和 8 年 2 月 2 日、JST 東京別館・オンライン） 「AI 時代におけるメタデータの再考」をテーマに、招待講演、話題提供講演やパネルディスカッションを行った。また、現地参加者限定で、講演者と参加者による意見交換会を実施した。講義資料・動画等を WEB サイトで公開。
共催・関連イベント、発表など
RDUF 公開シンポジウム（令和 7 年 12 月 12 日、JST 東京別館・オンライン） RDUF 会員や小委員会、部会による活動、成果物等の紹介や、研究データの利活用に係る招待講演、現地参加者限定のポスターセッション等を RDUF 事務局として運営した。
International Data Week 2025（令和 7 年 10 月 14 日、オーストラリア・ブリスベン） IDW2025 内 CODATA2025 の DataCite 主催セッションにて、事務局より「研究データのメタデータ基盤への技術的取り組みおよびコミュニティ支援」に関して JaLC 事務局として発表した。

(5) 海外の情報サービス機関との連携

- ・ DataCite との連携
 - DataCite APAC Expert Group Meeting
DataCite の新たな取り組み (Community Group) や関連イベント (DataCite Anniversary Meeting、IDW 等) について意見交換を行った。APAC など地域別 Group Meeting は 2025 年で終了し、2026 年からはテーマ別の 3 つの Community Group に再編される。
参 考 : <https://datacite.org/blog/call-for-applications-for-2026-datacite-steering-and-working-groups/>
 - DataCite との定期会合
Director of Strategic Programs and Partnerships 及び DataCite Commons 担当者と定期的に会合し、メタデータスキーマや DataCite Commons への JaLC メタデータ取り込み等について議論している (オンライン)。また、同氏を RDUF 公開シンポジウムの招待講演者として招待した。
- ・ CHORUS
毎月、取り込み条件 (ファンダー名・ID) を満たす DOI リストを送付している。令和 8 年 2 月時点で 2,128 件。JaLC DOI コンテンツは月次で CHORUS に取り込まれ、研究機関・資金配分機関ダッシュボードに反映されている。
- ・ OpenAlex (OurResearch)
メタデータ提供を開始し、先方取り込み作業の準備中。
- ・ OpenAIRE
メタデータ提供を開始し、先方取り込み作業の準備中。
- ・ 英国 CORE
メタデータ提供を開始し、先方取り込み作業の準備中。

— 以 上 —